

2021年11月下旬 配本予定

表層の冒険

— 抽象のバロキスム

発行：GAF 出版局

定価：本体 1,000 円+税 / A4 変型判 [270×210 mm] 104 頁

2021年7月5日発行

ISBN 978-4-9912104-0-2 C0070 ¥1000E

本誌は、美学者・谷川渥企画の「表層の冒険—抽象のバロキスム」展の詳細な記録である。現在すぐれて活躍する 40 名の作家の出品作品だけでなく、それぞれの制作意図、略歴を掲載。

国の内外を問わず、美術の動向に主要な傾向を読み取れない中、今回の展覧会は、「表層の冒険—抽象のアポカリプス」、「表層の冒険—抽象のミュトロギア」に続く 3 回目当たるが、バロック概念を再検討することによって、現時点の美術を見直してみようとする試みであった。きっと、現代の多様化した世界にあって、独自に制作された形象の内に、新たな予兆と展開を見出すことができるに違いない。

作品展示に合わせて、高島直之（美術評論家）、小山登美夫（画廊主）、谷川渥の 3 名によるトーク・イベント「現代美術の状況と方位」が行なわれた。さらに、中嶋夏+霧笛舎によるダンス・パフォーマンスを挟み、森下隆（NPO 法人舞踏創造資源代表）、中嶋夏（舞踏集団「霧笛舎」代表）、谷川渥の 3 者が、「美術と舞踏」と題して身体について熱く語り合った。それらの内容がつぶさに収録されている。

谷川渥（たにがわ・あつし）略歴

1948 年生まれ。美学者・美術評論家。マネエリスム、バロックからモダニズム、現代美術にいたる広範な領域を視野に収め、多方面にわたって批評活動を展開。著書に『形象と時間』（講談社学術文庫）、『美学の逆説』（ちくま学芸文庫）、『芸術をめぐる言葉』（美術出版社）、『図説だまし絵』（河出書房新社）、『文学の皮膚』（白水社）、『廃墟の美学』（集英社新書）、『美のバロキスム 芸術学講義』武蔵野美術大学出版局）、『シュルレアリスムのアメリカ』（みすず書房）、『芸術表層論』（論創社）など多数。



中嶋夏+霧笛舎によるパフォーマンス

▶ご注文はツバメ出版流通まで **FAX: 03-3721-1922** TEL: 03-6715-6121

<http://tsubamebook.com>

[mail:info@tsubamebook.com](mailto:info@tsubamebook.com)

貴社名（番線印）	http://g-artfield.jp	
	GAF 出版局	
	返品条件付き注文扱い 返品了解 ツバメ出版流通：川人	
	新刊	表層の冒険
		— 抽象のバロキスム
ご担当： 様	冊	1,000 円+税 A4 変型判 [270×210 mm] 104 頁 ISBN 978-4-9912104-0-2